

千葉大学病院で過去に当院の食物アレルギー研究や コホート研究に参加された皆様へ

2023年12月1日

小児科

小児科では、未就学児におけるナッツ・木の実類アレルギーの陽性率や発症危険因子の調査に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

過去に、以下の研究に参加されたことのある方

- ・アレルギー発症機序の解明にむけたアレルギー出生コホート研究とヒト化マウス作製
- ・アレルゲンエピトープおよびコンポーネントの解析に基づくアレルギーの病態評価に関する研究
- ・食物アレルギーの低アレルゲン化に関する研究
- ・乳幼児のVitaminD投与によるアレルギー予防についての研究

1. 研究課題名

「未就学児におけるナッツ・木の実類アレルギーの発症年齢の変化とリスク因子の解析」

2. 研究期間

2023年承認日～2025年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

研究の目的：

0～6歳までの未就学児における、ナッツ・木の実類アレルギー検査の陽性率と陽性者の危険因子や背景を明らかにします。

研究の方法：

各年代におけるアレルギー特異的 IgE 抗体の陽性率を算出します。陽性となりやすい因子を検討します。本文書の対象となる方で、血清保存が残っている場合は、その血液を用いてナッツ・木の実類アレルギー検査を行い、現在通院しているアレルギー患者さんとの比較を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料の種類：

保存されている血清

情報の種類：

年齢、性別、生活歴（親の職業・ナッツ摂取習慣の有無など）、既往歴、併存疾患、家族歴、生化学検査（総 IgE 値、ピーナッツ IgE、クルミ IgE、カシューナッツ IgE、Ara h 2、Jug r 1、Ana 03、TARC）、血液学的検査（好酸球数など）の臨床検査結果

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究代表機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 小児科 助教 中野泰至

【共同研究機関等】

研究機関名	研究責任者
千葉大学医学部附属病院 小児科	中野 泰至
君津中央病院 小児科	有馬 孝恭
船橋市立医療センター 小児科	今泉 孝章
千葉ろうさい病院 小児科	鈴木 亮介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部

附属病院1121号室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院小児科

医師 中野 泰至

t-nakano@chiba-u.jp

043 (222) 7171 内線5364